バイコンマンホール

施工要領書

イトーヨーギョー

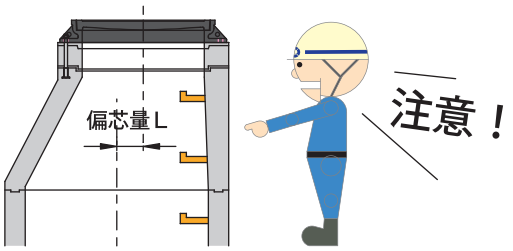
施工は下記のフローチャートに従います。

掘削 → 基礎 → 底付 → 直壁 → 斜壁 → 調整ブロック → 調整モルタル → 鉄ふた

【据付けに際しての留意点】
マンホール芯とふた芯は
偏芯します。
偏芯寸法は右図の通りです。

呼び径600の鉄ふたの場合（㎜）

種類	L
1号マンホール	130
2号マンホール	300
オーバルマンホール	150

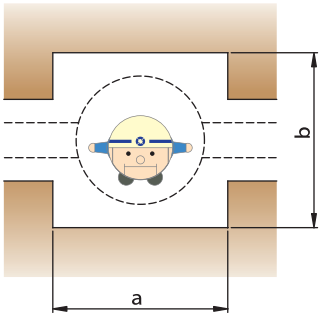


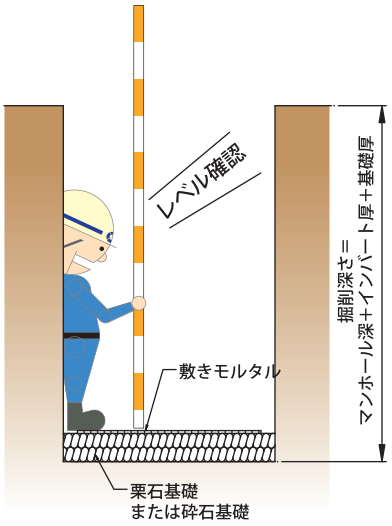
① 掘削・基礎

・掘削深さは、マンホール深よりインバート厚と基礎厚を下げた深さとします。
・栗石基礎及び砕石基礎は、栗石基礎には切り込み砂利などの目つぶしを加え、ランマー等で十分転圧して、平滑に仕上げてください。
・敷きモルタルを20mm程度施工し、水平に均してください。
・基礎上面がマンホール深よりインバート厚だけ下がった高さになっていることを確認してください。

掘削幅の目安（mm）

種　類	a	b
1号マンホール	1700	1700
2号マンホール	2040	2040
オーバルマンホール	1650	1350

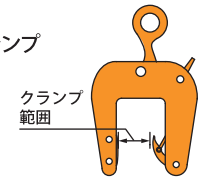




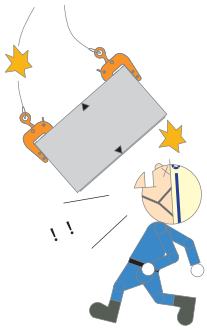
② 底付の据付け

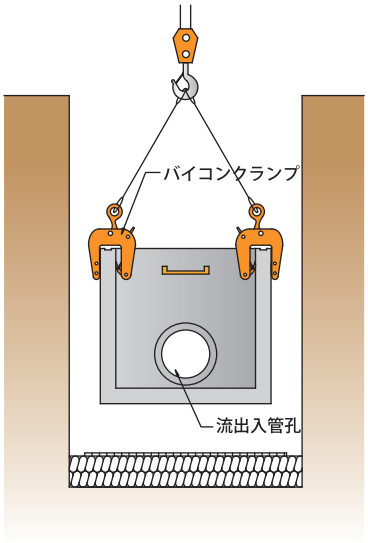
・ブロックの吊り下げには安全に据付けができるバイコンクランプを使用してください。
・バイコンクランプは正しく使用し、絶対にブロックの下に入らないでください。
・据付けは底付側面の流出入管孔を目印にマンホールの芯が一致するように据付けます。
・底付の上面に角材等をおき、水平器等で必ずレベル調整してください。

バイコンクランプ



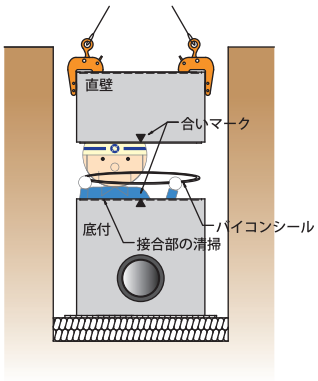
○ 容量　1200kg（1台あたり）
○ クランプ範囲　73～135㎜
○ 自重　1.4kg
＊2台/組で使用

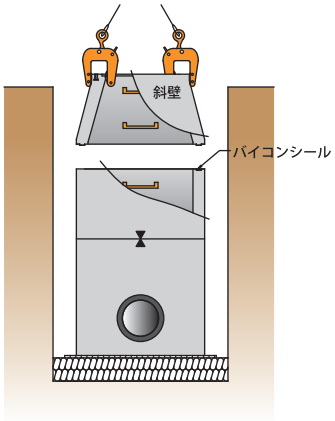




③ 直壁・斜壁の据付け

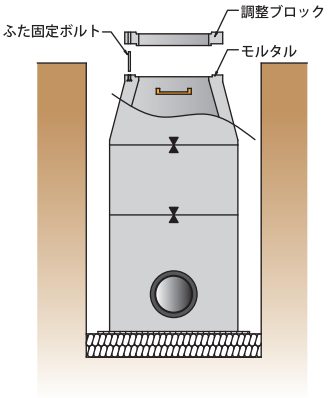
・接合部の砂利・砂・ゴミ等を取り除き、清掃してください。これらは、漏水の原因になります。
・ブロックの接合部にバイコンシールをセットします。
・直壁の合いマーク(▼)と底付の(▲)を合わせて据付けます。
・斜壁についても、直壁同様に据付けます。
・すぐに埋め戻しをおこなう場合には、斜壁の上に角材をあて荷重を加えると、バイコンシールがより完全に接着し、止水効果があがります。
・絶対にステップを吊らないでください。

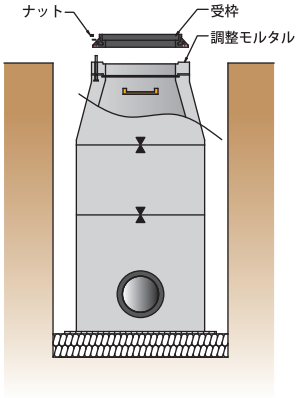




④ 調整ブロック・鉄ふたの据付け

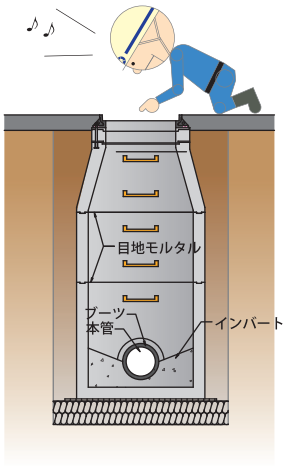
・受枠固定ボルト(M16)を斜壁のインサートに取付けます。
・調整ブロックを使用する場合は、斜壁の上部と調整ブロックの間にモルタルを薄く施工してください。
（モルタルにより点荷重を防止し、路面からの衝撃を分散させ緩和します。）
・受枠と調整ブロック、または斜壁との間にマンホール深さを調整するためのモルタル(調整モルタル)を敷きます。
・受枠を路面勾配にあわせるように押さえつけながら取り付け、固定ボルトにナットを取付けます。

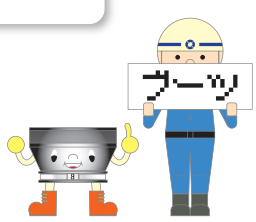




⑤ 仕上げ・管取付け

・組立て完了後、各接合部の目地部分にモルタルを充填します。
・本管取付け部の基礎は、沈下の無いよう、マンホール基礎と同程度とします。
・本管取付けには、施工性および耐震性が大幅に向上する可とう性継手ブーツを使用します。
・本管取付後、インバートを施工します。



埋め戻しについて

・埋め戻しには良質の材料を用いてください。
・偏土圧がかからないよう注意してください。
・十分な締固めをおこなってください。